

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	林 昭雄	電 話	483-1151 内線：3220
-----	-------	-----	---------	------	------	-----	------------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		3894		事務事業名称		不法投棄等対策事業					短縮コード		経常	3894	臨時	3895											
予算区分		会計	01	一般会計		款	04	衛生費			項	02	清掃費			目	02	塵芥処理費									
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市ポイ捨て防止に関する条例，八千代市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例，八千代市不法投棄防止条例，八千代市不法投棄連絡員制度設置規程，八千代市不法投棄対策連絡会議設置要領 ●施策体系欄に書ききれなかったもの（小項目）03030303残土による土壌汚染・災害の発生の防止（細項目）0303030399																			
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																											
市内に不法投棄物が散乱し，環境美化を損なう状況が生まれ始めたため，平成１４年度にクリーン推進課クリーン班が担う形で始まったが，平成１５年１０月に組織の見直しを行い，「不法投棄対策班」を立ち上げ，名目共に事業を開始した。 その際に，ポイ捨て，土砂等の災害防止等の事業も併せ持つこととした。																											
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系																					
最近の不法投棄の状況に関しては，大量投棄ではなく小口で場所を変えて数箇所にゲリラ的に投棄されることが多く，特に市北部には産廃の不法投棄が目立っており，タイヤや建築廃材については，投機者の手掛かりが無く対応に苦慮している。 なお，都市部においては引越し等で排出されたとと思われる物のごみが一括して投棄されるケースやポイ捨て等も増えている。 また，景気状況の改善から，土砂等の客土申請等も増えているが，それに伴って不適正行為の増加も予想される。																			５本の柱（章）		03	安全・環境共生都市をめざして					
																			大項目（節）		03	環境・衛生					
																			中 項 目		03	環境美化					
																			小項目（施策）		02	汚染・災害の発生防止					
細 項 目		01	不法投棄の防止																								
		02	土壌汚染・災害の発生防止																								
実施計画の計画事業																											
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		平成17年4月 ～ 平成18年3月				計 画 事 業 費		千円														

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	不法投棄物，不法投棄者，遊休地等の不法投棄対象土地所有者，同管理者，残土条例に基づく申請者，残土，不法投棄通報者											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成17年度に実際に行ったこと： 1．不法投棄対策事業（1）不法投棄物の調査，（2）不法投棄者の調査指導，（3）不法投棄物の撤去，（4）不法投棄の監視，（5）廃棄物処理施設設置に伴う意見調整，（6）不法投棄対策連絡会議設置等による不法投棄防止対策の確立，（7）看板設置等不法投棄防止の啓発，（8）不法投棄監視装置の運用，2．ポイ捨て防止事業，（1）新川ポイ捨て防止啓発 3．土砂等の埋立て等の指導（1）条例に基づく申請許可手続，（2）残土等の不適正処理のパトロール，（3）不適正処理行為者への指導， ※平成18年度に計画していること： 17年度と同じ											
意図 （何を狙っているのか）	環境美化，周辺環境の安全確保，埋立等による土砂の土壌汚染及び災害の防止											
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	1．不法投棄の一掃 2．不適正残土（盛土）の一掃 3．ポイ捨てのない美しい街作り											
区 分					単位	16年度		17年度		18年度		
						実績		計画		実績		計画
対象指標	指標1	把握した不法投棄件数			件	242		0		208		0
	指標2	把握した盛土（埋め土面積）			m ²	8,490.45		10,000		15,287,080		10,000
	指標3	看板申請件数			件	20		10		11		10
活動指標	指標1	不法投棄物調査・指導件数			件	242		0		208		0
	指標2	不適正残土（盛土）指導件数（面積）			m ²	1,087		0		999		0
	指標3	懸垂幕・横断幕掲示期間			日	63		56		61		56
成果指標	指標1	投棄者による撤去件数／把握した不法投棄件数			%	1.65		2.5		1.44		10
	指標2	把握し，指導した無申請盛土面積／把握している盛土（埋め			%	12.81		10		6.53		10
	指標3	パトロールにより発見された不法投棄件数／把握した不法投			%	6.2		10		7.7		10
上位成果指標	指標1											
	指標2											
	指標3											

コード	3894	事務事業名称	不法投棄等対策事業				所属名	クリーン推進課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			不法投棄に対する啓発や不法投棄物の撤去及び処分について、関連する部署を統合することにより人的な効率化が図れる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☒ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			不法投棄対策事業については、事業の進捗に伴い不法投棄物の発見・処分が増加しそれに要する経費が増大する。しかし、長期的に見れば、組織・人員の見直しを図ることにより、コストを増加させずに成果を向上させることも可能と考えられる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
●自分は不法投棄の被害者なのに、何故、市は（不法投棄物を）片づけてくれないのか。 ●ただで全部引き取ってくれば捨てたりしない。 ●柵もした、看板も立てた、なのに捨てられる、何とかしてほしい。 ●税金を払っているのだから、不法投棄されたものを市が片づけるのは当然だろう。 ●捨てた奴が見つかったら、すぐに処罰しろ。 ●（不法投棄・残土）条例があるのだから、条例に基づいてきちんと処罰すべきだ。条例に基づいて告発したり、告訴したことはあるのか。 ●自分の土地に何を置こうが、市に言われる筋合いはない。 ●自分は歳をとっていて、柵を作ったりすることはできない市で何とかしてくれないか。 ●調べに来るだけで、片づけてくれないのなら意味がない。 ●自分の土地が低かったから埋めただけ、何の問題もないだろう。 ●いくら市に権限がないといっても、実際何が埋められているのか、調査して報告する義務はあるのではないか。土砂といっているが、あれは絶対産業廃棄物だ。 ●後から来たって、何の役にも立たない。やっているときにすぐに来てもらいたい、そして、捕まえてもらいたい。 ●監視カメラなんて効果がないだろう。 ●（申請にもとづく手続きは）もっと早くやってくれ。 ●県の仕事（立入調査等）をして金はもらえるのか。 ●〇〇〇（例：自宅周辺・駅周辺・通勤経路・道路・公園等）はポイ捨てが多い、何とかしろ。 ●駅前のたばこのポイ捨てを何とかして。 ●歩行喫煙が多いので、他市同様禁煙条例を制定してほしい。									

所 属 長 コ メ ン ト	「不法投棄等対策事業」は、①一般廃棄物や産業廃棄物の不法投棄を防止するとともに、実際に投棄された物について、他のセクションと協力し、処理すること。②市内の自然環境や生活環境を守るため、有害物質が混入しているような土壌の盛土や崩落等が予想される盛土について、規制する事業です。ベースとなる不法投棄件数がどのくらいの件数に上るのか、残土盛土がどのくらい行われているのかを把握することは、パトロールや通報によることしか出来ず、評価することが、甚だ困難な事業でもあります。不法投棄は、されないことが当たり前であって、本来あってはならないものですが、根絶することは非常に困難なものです。本評価を通じ、是非市民の皆さまにご理解いただきたいと考えております。				
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続		有効性や効率性向上の手段を検討し、改革・改善を行なうべき。		
	☐ 手法プロセスの改革・改善				
	☐ 事業規模の拡大・縮小				
	☒ 統合・役割見直し				
☐ その他					
☐ 廃止					
☐ 休止					
☐ 現状のまま継続					